

西山瞳 piano

橋爪亮督 tenor & soprano sax

鈴木孝紀 clarinet

2020 02月11日(祝火)

開場 14:30

開演 15:00~

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3500円+2drinks order

CAFE BEULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、  
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を  
ご記載ください。



## 橋爪亮督

1970年生まれ。岡山大学在学中20歳の時にボストン・パークリー音楽大学から奨学金を受け渡米。1996年同校Jazz作曲科卒業。同年初のリーダー作となる「And Then You Heard Tales (HAO Record 428)」をアメリカ国内でリリース。翌年2枚目のリーダー作「In A Stranger's Hand (HAO Record 429)」をリリース。1997年帰国。2006年 POLYSTAR JAZZ LIBRARYより国内初となるリーダー作「WORDLESS」(P.J.L. MTCJ-3031)をリリース。2008年 BounDEE JAZZ LIBRARYより国内2作目となる「AS WE BREATHE」(B.J.L. DDCJ-7004)をリリース。2009年 Grapes Recordより国内初のライブ録音となる「Needful Things」(GPS-1206)をリリース。2012年 tactil esound recordsより「ACOUSTIC FLUID」(TS-001)リリース。2013年 Apollo Soundsよりグループとしては初のライブ盤「Visible/Invisible」(APLS-1304)をリリース。2014年続編となる「SIDE TWO」(APLS-1410)をリリース。現在は全曲オリジナルによる自身のグループを中心に新宿ビットインを始め首都圏ライブハウス等で活動中。2017年「incomplete voices」をリリース。



## 西山瞳

6歳よりクラシックピアノを学び、18歳でジャズに転向。大阪音楽大学短期大学部音楽科音楽専攻ピアノコースジャズクラス在学中より、演奏活動を開始する。卒業後、エンリコ・ピエラヌンツィに傾倒。2004年、自主制作アルバム「I'm Missing You」を発売。2005年、横濱ジャズブロードナード・ジャズコンペティションにおいて、自己のトリオでグランプリを受賞。2006年「Cubium」をスパイスオブライフ (アミューズ) よりリリースし、デビューする。「Many Seasons」「In Stockholm」と、2枚のスウェーデン録音作品をリリース。2008年「Parallax」では、HMVジャパニーズジャズチャート1位を獲得、スイングジャーナル誌日本ジャズ賞にノミネートされる。2010年、アメリカで最大規模の作曲コンペティションであるインターナショナル・ソングライティング・コンペティション (ISC) で、全世界約15,000エントリーの中から自作曲「アンフォールディング・ユニバース」がジャズ部門で3位を受賞。合わせて、自作曲「ソウル・トラベル」がセミファイナルに選出され、コンポーザーとして世界的な評価を得た。2011年発表「Music In You」では、CD Journal誌2011年のベストディスクに選出される。2014年には最新トリオ作「Shift」を発売。公式ホームページ <http://hitominishiyama.net/>



## 鈴木孝紀

大阪音楽大学卒業後、クラシック奏者として歩むが、ジャズミュージシャンである家族の影響を受けてJazzに傾倒し演奏活動を始める。現在、ジャンルを問わず様々なミュージシャンとの共演を重ねライブ活動を行う他、アーティストのCDへの参加をはじめ、CM音楽やドラマなどのTV音楽の他、様々なレコーディングワークも精力的に行なっている。2015年、愛川聡(Guitar) 荒玉哲郎(Bass)の両氏を迎え結成した自身のTRIOではこれまでに2作のアルバム「COLLAGE」(2015)「Paracca」(2018)をリリース。編成のシンプルさを感じさせない奥深く響くサウンドと緻密なアンサンブルで、限りなくアコースティックでノブルな室内楽ジャズの世界を繰り広げ、各方面から好評を得ている。イタリアのJazzウェブマガジン「Jazz Convention」にレビュー掲載。収録曲「Lumière」は(株)YAMABISHI ラジオCMイメージソングとして起用され、2019年現在、全国で放送されている。2008年から自身のライフワークとして続けてきたクラリネットソロプロジェクトは10年目を迎えている。クラシックを踏襲してきた鈴木ならではのウォームで芯のある音色とジャンルにとらわれない自身のスタイルで、新たなクラリネット音楽を提案し展開している。公式ホームページ [takanorisuzuki.net](http://takanorisuzuki.net)